

Weekly Report

2015～2016年度



平成28年4月19日(火)
第1808回例会

- 会長 鴨志田 敏彦
- 幹事 赤本 昌広
- 会報 中村 和広



作者の言葉
 我が百合丘ロータリー
 のシンボルである百合の花は
 地味にこそ有る様にが、
 この多岐にわたる活動に
 に見ると、
 知らぬ間に、
 され少くも、
 ちこそ、
 小の、
 清純な乙女を感じ
 させよう、
 昭和五十八年 春日日
 大友 大

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1808回例会記録 平成28年4月19日(火) 37/46回

<点鐘> 鴨志田会長

<ソング> 我等の生業

<お客様ご紹介> 鴨志田会長
 昭和音楽大学 理事長 下八川共祐様
 山王RC 山崎恵美子様
 次年度米山奨学生 傅嘉巍君→「横浜美術大学3年、
 プロダクトデザインを専攻しています。これからお
 世話になります。よろしくお願いたします」。



川崎信用金庫新百合丘支店長 小林亮二様→「このたび異動で新百合丘支店長として赴任してまいりました。精一杯頑張りたいと思いますので、皆さまのご指導よろしくお願いたします」。

<会長報告> 鴨志田会長
 先に、持ち回り理事会報告です。
 ・熊本地震義援金 地区より会員全員分の寄付の協力依頼について
 当クラブの社会奉仕委員会より提出することが承

認されました。
 以下、会長報告です。
 1. 2016年熊本地震義援金に対する協力依頼の件
 2. 拡大増強・退会防止セミナー開催の案内
 5/19(木)15:00～17:30 メモワールプラザソシア21
 3. 2016～17年度インターアクト役員研修会開催の件
 5/21(土)15:15～16:45 ワールドポーターズ内 イベントホールB
 4. 16年度ロータリー米山奨学生「米山梅吉記念館訪問」の案内
 5/15(日) 集合7:15 ホテルキャメロットジャパン
 5. 平成28年度川崎市文化賞等候補者の推薦について

<幹事報告> 親松副幹事
 ＊文書着 川崎中央RC 川崎マリンRC
 ＊会報着 米山記念奨学会

<ニコニコ委員会> 安藤美恵子委員長
 昭和音楽大学理事長 下八川共祐様より頂きました。山王RC 山崎恵美子様→「金程に学びの“一軒家”エレハウスをオープンしました」。当クラブより鴨志田会長→「昭和音楽大学、下八川理事長様、卓話よろしくお願いたします」。浅野会員→「妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございます。それと…このたび転勤することになりました。短い間でしたがお世話になりました。ありがとうございます」。安藤美恵子会員→「ホテルモリノとオーパ店の好意で川崎洋ランクラブのラン展をオーパの1階にて明日まで開催しております。ご興味のある方はどうぞご覧ください」。SMBC日興証券様→「『セーフ

- | | | |
|--------|-------|-------------|
| 第1810回 | 5月10日 | 会員卓話⑥ |
| 第1811回 | 5月17日 | 移動例会 家族感謝の日 |
| 第1812回 | 5月24日 | 招聘卓話③ |

ティチャレンジかながわ』で当選した賞金をクラブに寄付いたします」。以下感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤亨会員、安藤志子会員、福家会員、畠山会員、井上久会員、井上勇会員、石坂会員、金子会員、勝田会員、北島会員、小島会員、中島眞一会員、大矢会員、親松会員、坂井会員、佐藤会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、玉井会員、寺川会員、渡邊会員、結城会員。

<出席委員会>

渡邊委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第1808回	42	32	10		76.19%
第1807回	42	32	10	7	92.86%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	31件	97,000円	1,037件	1,193,612円
財団	0件	0円	16件	230,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	120,000円
米山	0件	0円	31件	440,000円

本日のプログラム

<招聘卓話>

先に鈴木清会員より下八川共祐様のご紹介がありました。～略歴～

- ・公益社団法人日本演奏連盟常任理事
- ・公益社団法人スターダンサーズバレエ団理事
- ・日本音楽芸術マネジメント学会理事
- ・一般社団法人日本クラシック音楽事業協会副会長

昭和音楽大学理事長 下八川共祐様

平成元年に昭和音楽芸術学院として新百合ヶ丘北口に移転し、2007年に昭和音楽大学が厚木から移転してから、この地で皆さまに大変お世話になっております。

私は四国高知県の出身で、先祖代々和紙を作って卸していました。親の代より東京に出、父が本来は日本の伝統的な歌舞伎などの方向に進みたかったようですが世襲の世界で厳しく、オペラの世界に入ったようです。私も子どもの頃から親の歌など聞いて育ちましたが、音楽ではなくマネジメントの方をやることとなり、オペラを学びながら大学の経営をしてきました。

父が1940年に東京声専音楽学校を立ち上げました。声楽の中で一番早く食べていけるのがオペラですがとても人の力が必要で、主役から脇役、合唱、オーケストラ、オーケストラキット、裏方と沢山の

人が関わり非常に人件費がかかり、当然チケット代も高くなるので、国から寄付を頂いて運営しております。音楽大学としての教育内容の充実や事務局と教員が一体となり努力もあり、関東の私立音楽大学の中では1番国からお金の支援を頂いております。

財団の中には、我が国初の本格的オペラ団体、藤原義江を中心となってブッチーニの「ラ・ボエーム」が上演され誕生した藤原歌劇団があります。父が藤原歌劇団に参加したのがご縁で、晩年引き受けた経緯となっております。歌劇団の公演は赤字ばかりなので他は誰もやらず、結局私の所で継続している次第です。ワーグナーなどは楽劇と呼び歌手も大変体力が必要で観劇するにも時間がかかります。オペラは今、高尚なものに見られがちですが、本来食事をしながら、飲みながら、ポーカーをやりながら観劇する大衆芸能でした。

オペラ歌手はイタリア人が多いのですが、ヨーロッパでも北の方面に行くと声が重くなり、ロシアなどはソプラノでも立派な声でバスが多いです。民族的に声質が違い、日本人は繊細で絹のような高い細い声で、韓国は日本より太くなり、中国になると更に他民族国家なので色んな味わいの声になります。また中国のトップクラスの歌手は世界のトップクラスとして通用する歌手が大勢います。

ヨーロッパの方とお付き合いが多いのですが、以前と比べEUとなってから非常に冷たくなったと感じています。イタリアもEUからお金を貰うのでどうしてもEUの人を優遇する事となるようです。

オペラの価値観は非常に難しく、指揮者の評価がとても難しい。オペラを指揮するという事は、その感性が10代の頃には身に付いていなければならず、ヨーロッパの人は子どもの頃からオペラに親しめる環境があり、またピアノ奏者から指揮者になるので呼吸がわかる、そういった事からオーソドックスなオペラの指揮者の評価がとても難しいのです。オペラというのは普通の音楽と違った魅力もあり、違った難しさもあります。今度『愛の妙薬』というオペラを公演しますので是非お越しいただければ幸いです。

